

## 社会貢献活動

### 豊中市サウンドスクール事業〈音楽があふれる学校づくりのために〉

#### 【趣旨】

音楽教育は、表現及び鑑賞の活動をとおして、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、豊かな情操を養うことを目標としている。

本事業をとおして、子どもたちが「音楽のすばらしさ」に触れる機会を充実させるとともに、情操教育の一環として、豊かな人間性を育むことを目的に、音楽文化の醸成による「音楽があふれる学校づくり」をすすめる。

#### 【事業概要】

- **生きた演奏支援活動**

大阪音楽大学の学生や教員、卒業生などを小・中学校に派遣し、出張演奏の開催や授業支援、クラブ活動支援を行う。

- **伝統文化音楽の普及**

集団演奏が可能な台数の箏をセンター校に配置し、中学校音楽科学習指導要領に示されている和楽器の取り扱いの充実在即した演奏等の普及活動をすすめる。

#### 【変遷】

2006年9月に豊中市教育委員会と大阪音楽大学で連携協力に関する覚え書きを交わし、同年10月より両者の共同事業としてスタート。これまでに訪れた学校は延べ200校以上、実施回数約300回。

#### 【活動成果】

- **出張演奏会**

文化庁による「旧・本物の舞台芸術体験事業」や「新・次代を担う子どもの文化芸術体験事業」等の芸術鑑賞会事業とは大きく異なる形態の演奏会を展開。

- **授業等への支援**

本物の楽器や、その生の音にふれることができる。

独唱曲や合唱曲の指導においても、CD等の音源ではなく生の声を聴き、目の前で実際に専門的な発声を体感できる。

- **クラブ活動支援**

20種類近い楽器で編成されている吹奏楽で、個々の楽器の専門的な正しい奏法を学ぶことができる。吹奏楽の合奏指導支援により、合奏力、表現力の向上が図れる。